

鉱山保安情報 (平成28年4月1日号)

第12次計画の4年目が始まりました！

平成28年度の目標(全国)

平成28暦年の全鉱山における災害について

度数率:0.80以下(り災者17名以下に相当)

強度率:0.35以下(損失日数約7,600日以下に相当)

取組のポイント



残念ながら、2月に死亡災害(BC巻き込まれ。損失日数7,500日)が発生しています。今後は重篤災害の撲滅を目指しましょう！

◇リスクアセスメントの徹底による重篤な災害の撲滅

→リスク評価の徹底と、リスク低減対策の優先順位付けによって、重篤な災害の可能性から順に無くしていきましょう。

◇鉱山保安マネジメントシステムの構築・有効化の更なる推進

→鉱山保安MSの特長は「継続的改善」です。更に推進することによって保安レベルを向上させましょう。

既に災害が発生しています！

・平成28年1～3月の罹災者数は3名(BC巻き込まれ、墜落、自動車)。



近づく前に必ず停止！回転体に手を出さない！

～「自分は大丈夫だろう」という思い込みは非常に危険です～



高所では安全帯を確実に装着して作業を行きましょう！

～思いも寄らずバランスを崩すことがあります～



車両系・自動車の始業点検、定期的な点検整備を励行しましょう！

～鉱山道路等の転落防止措置(土盛り等)は有益です～

類似災害の未然防止に活用しましょう！

『リスクアセスメント事例集50選～全国鉱山災害事例データベースより～』

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/mine/files/riskassessmentjireisyu.pdf